

令和5年  
4月開講

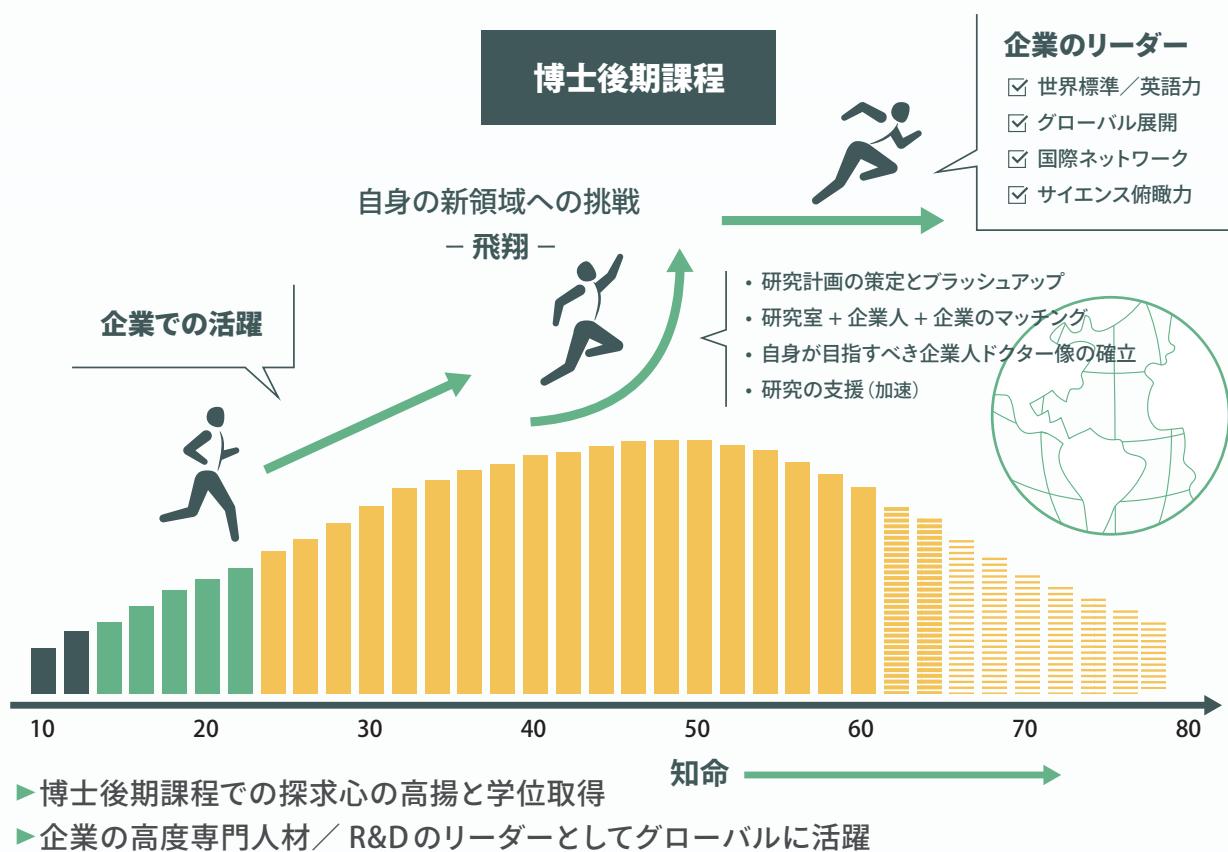
サムコ辻理寄附講座  
グローバル企業人ドクター  
知命飛翔京都プロジェクト

# 企業人 人生100年時代へのシフト 40歳代からのチャレンジ 〈产学協働プロジェクト〉

2023年1月

## 目指そう！工学博士への道 開こう！グローバル展開 世界への扉

### グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト



京都工芸繊維大学  
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

# 博士後期課程修了／工学博士号取得までの流れ

## 団体(企業)推薦の特別受入学生として入学(前期)

募集期間(企業からの事前推薦期限)～2月末

### ▶ 4月開講 サムコ辻理寄附講座(半年間：前期)

講座「先端材料科学論／特論」(座学 全15コマ 大学院講座)の受講

### ▶ 博士後期課程特別入試へのサポート

- 自身の企業での研究開発実績の棚卸と評価(アカデミアとしての視点)  
企業・学・履修生の三者間の調整
- 博士後期課程における研究計画の策定とブラッシュアップ  
本学指導予定教員とのマッチング

## 大学院後期課程の選考試験(8月 企業人特別入試)

### ▶ 先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム

受入研究室での研究活動(2年間 対象：マテリアル全般)

- 今までの企業でのバックグラウンド(あるいはそれに隣接する新たな領域にチャレンジ)
- 複数の教授陣による助言者などの充実した相談体制
- 寄附講座拠点や学内教育研究設備の利活用
- 研究活動支援(受入研究室を通じて、研究資金等を支援)
- 国内外の学会への積極的な参加とその支援

## 博士論文の発表・審査 → 学位(工学博士)の取得

- ✓ 本プロジェクトは、主として京都の中堅・中小企業に勤務する概ね45歳前後の技術者を対象に、学位取得後も引き続き所属企業において活躍することを前提とした事業です。
- ✓ 大学院後期課程の企業人特別入試は、「社会人特別入試」として行います。
- ✓ 大学院後期課程の身分は、原則会社からの教育派遣とします。
- ✓ 博士後期課程受験は、原則「修士」の方で、それ以外の方は、事前の資格審査があります。

※特別受入学生の期間は、授業料等は不要です。

※博士後期課程： 検定料 30,000円

(令和4年度実績) 入學料 282,000円

授業料 535,800円 (年額) × 2年間

(注)特別受入学生履修者で講座履修状況などが良好な方につきましては、申請により博士後期課程の入学料・授業料が免除となる制度(審査有)があります。

令和5年4月13日 開講

## サムコ辻理寄附講座「先端材料科学論／特論」

産・学・内・外の多彩な教授陣!  
現役の修士課程学生とともに学ぶアカデミアへの再入門!

### 1 SAMCO Lecture (I) ~ (VII)

- 材料・化学の領域におけるイノベーション … 辻理 会長
- 先端技術と材料学(I) ……………… 辻理 会長
- 先端技術と材料学(II) ……………… 藤田静雄 京都大学名誉教授
- 先端技術と材料学(III) ……………… 鈴木彰 常勤顧問
- 最新の半導体材料技術 ……………… 高須秀視 社外取締役(元ローム常務取締役研究開発本部長)
- 医療関連材料科学 ……………… 北出達也 京都薬科大学名誉教授
- 知財と材料科学 ……………… 沼田佳博 知財担当

### 2 Academic Lecture (I) ~ (VI)

- 大学で学ぶ最先端材料科学 ……………… 山下兼一(電気電子工学系教授)
- ミクロン・ナノ微粒子の科学 ……………… 則末智久(材料化学系教授)
- 大学発の分子化学材料 ……………… 熊田陽一(分子化学系准教授)
- 計算材料組織学の最先端 ……………… 高木知弘(機械工学系教授)
- 大学発の高分子材料 ……………… 麻生祐司(繊維学系教授)
- 令和4年度企業人受入研究室より ……………… (電気電子工学系を予定)

### 3 Invited Lecture

- 計算材料組織の最先端(マテリアルインフォマティックス) ……………… 日下康成(積水化学工業)
- ペロブスカイト光電子デバイス ……………… Dawei Di(浙江大学)(英語)

**全15コマ 毎週木曜日5時限(16:10~17:40 令和5年4月13日~7月27日)**  
**対面+オンラインでのハイフレックスで開講**

※令和5年1月時点での予定者です。講師他変更となる場合がございます。

※本講座は、博士後期課程を目指す特別入試へのサポートの一環ですが、博士後期課程の受験を必ずしも義務付けるものではありません。

令和5年9月下旬入学(第二期生)

## 先端マテリアルサイエンスを担う博士人財鍛え上げプログラム

複数のメンター(教授)のもと2年間で博士後期課程の単位を取得するためのプログラムです。英語論文の作成/読解力や国内外への複数の論文の投稿など、研究課題を掘り下げるだけでなく、海外でのネットワークを築き、最先端科学へのコミュニティへの参画を目指し、学位(工学博士)取得を目標とします。

本学としては、学位取得後、所属企業のリーダーとしての活躍を想定し、教育派遣としてできるだけ研究に従事頂くことを基本としております。研究テーマについては、寄附講座「先端材料科学論／特論」の受講期間中に本人・研究室・事業主間の相互の調整を行い、最も成果が上がるようその具体的な内容を社会人特別入試までに決定していくこととしております。

## 寄附講座開設の目的と経過

このたび、サムコ株式会社(京都市伏見区)会長辻理氏の支援協力を得て、「企業人ドクター」というキーワードのもと、約4年半にわたる構想「グローバル企業人ドクター知命飛翔京都プロジェクト」を新たな産学協働のプロジェクトとして実施する運びとなりました。

令和3年9月、辻氏と本学森迫学長との懇談において、人生100年時代を迎え、研究開発のリーダーとして活躍が期待できる人材育成の必要性とその方策について、企業経営者、アカデミア双方の立場から意見交換を行いました。△日本の先端ものづくり企業において、「国際競争力」「人材育成」の強化は、急務となっていること、△そのために企業の中核人材となる40歳代半ばの研究者を鍛え、新たなステージに飛翔させ、引き続き企業において活躍すること、△日本企業の現状に鑑みて、こうした有能な人材の育成は、企業の国際競争力を強靭にし、産業界の科学力向上を期待することができること、△その方策として、学位博士号を取得するという過程を通じて実現させること、△本学の理念にある「京都発の先鋭的な国際的工科系大学 KYOTO Institute of Technology として、これまでにない新しい発想や価値の創造を実現」すること、以上の点で意見の一一致を見るに至りました。

本学としては、これらは、日本の技術力向上にまさに的を射た視点であり、こうした人材が企業の後進の指導を行うことによって、更に「企業の人材育成の好循環」を生み出すことが期待できると考えており、辻氏からの全面的な資金提供という、極めてありがたいお申し出を最大限活用して参ります。



令和3年11月11日  
共同記者会見 京都経済センター

## 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパスにて開講

### 京都工芸繊維大学(松ヶ崎キャンパス)への交通案内



### 問い合わせ先

国立大学法人 京都工芸繊維大学  
研究推進・产学連携課  
E-mail sangaku@jim.kit.ac.jp  
電話 075-724-7035

京都工芸繊維大学 専用サイト  
<https://www.endowed-courses.kit.ac.jp/samcotsujiosamu/>



※本パンフレットは、令和5年1月現在検討中のものをもとに作成しており、講座・演題名などは、一部(仮称)となっております。

今後、変更となる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。